

【メール転送】ユーティリティ（ ver 1.4 ）

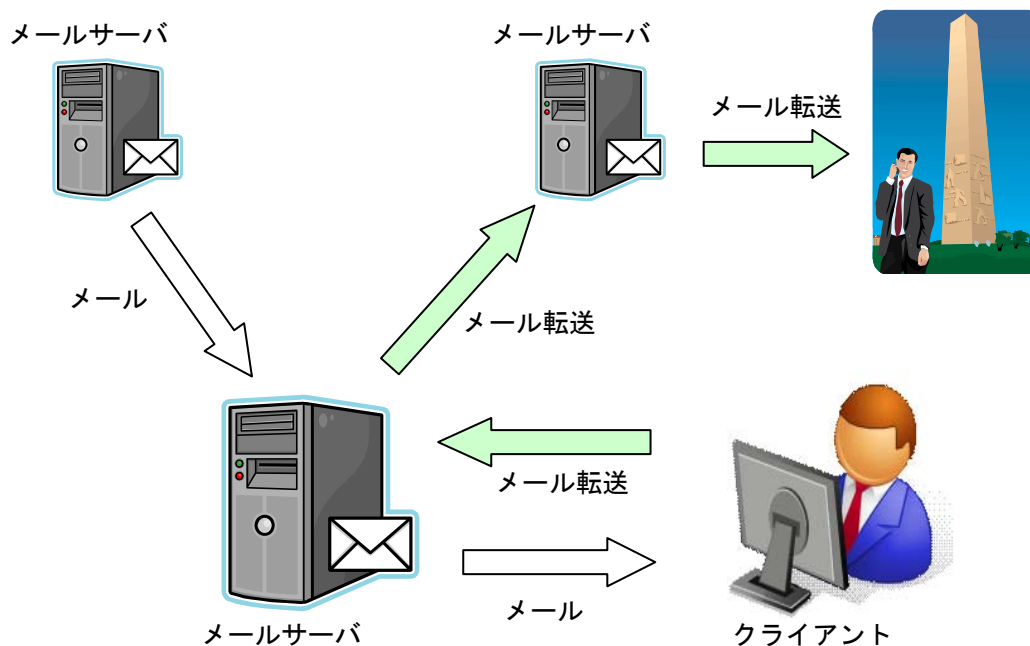
目 次

1.	概要	2
1.1	実行環境	3
1.2	必須ライブラリ	3
2.	インストール	3
3.	環境設定	4
3.1	メールサーバ接続設定	4
3.2	転送データ設定	5
4.	起動方法	6
5.	その他	6

1. 概要

この「メール転送」ユーティリティは、受信メールを他のメールサーバに転送します（実際には、受信したメールの「件名 (Subject)」のみを転送します）。

有効な活用方法は、外出するときこのユーティリティを起動しておけば、外出先でメール受信の確認が携帯で出来ます。



注：「メール転送」ユーティリティは、「メールサーバ」または「クライアント」で動作が可能です。（上図は、クライアントでメール転送を実行させた場合を意味します。）

気に入って頂ければ文末に記載した口座にカンパをお願い致します。機能追加等が早い時期に行われるようになります。

注意事項

- ・ SSL 対応は将来機能
- ・ 複数サーバの対応は将来機能

1.1 実行環境

O/S : Windows (2000 / XP / Vista) / Linux (Vine) / Solaris / Mac
Java : JRE6 (1.6)

※実績より

1.2 必須ライブラリ

- ・一般的にリリースされたパッケージ

mail.jar (version 1.4.1)

activation.jar (version 1.0.2)

log4j-1.2.14.jar

- ・Java 用に作成したユーティリティ群

YKSUtils.jar

YKSWindowCreator.jar

2. インストール

適当なフォルダに解凍して下さい。以降、解凍先のフォルダを「\${MailMonitor}」
と表記します。

Java のインストール方法は、本書では除外します。

3. 環境設定

3.1 メールサーバ接続設定

このユーティリティを使用する場合、最初に行います。

\$ {MailMonitor}/MailConfig.bat を起動し、

- ・ メールサーバ名
- ・ メールアカウント名およびパスワード（パスフレーズ）
- ・ プロトコル（imap / pop3 を選択）
- ・ メールボックスフォルダ名
- ・ 転送者名（使用者の氏名）
- ・ 転送元および転送先メールアドレス

メールサーバ:

アカウント:

パスワード:

プロトコル:

フォルダ名:

転送者名:

転送元アドレス:

転送先アドレス:

メールソフト名称:

MIMECharset:

Date Format:

特に変更の必要なし

保 存

設定内容を保存

3.2 転送データ設定

\${MailMonitor}/DatabaseUpdate.bat を起動し、送信元メールアドレスごとに、

- ・転送実行
- ・コメント（転送メール本文の内容）

を設定します（下図参照）。

	送信元メールアドレス	転送実行	コメント(転送メール本文)	削除
1	from1@mailserver1.com	report	xxx氏からのメールを受信	X
2	from2@mailserver2.co.jp	no report	yyy氏からのメールを受信	X
3	from3@mailserver3.jp	report	zzz氏からメールあり	X

設定内容を保存

追加

送信元メールアドレス（行）を追加

4. 起動方法

「`${MailMonitor}/startMailMoni.bat`」を起動して下さい。

5. その他

・連絡先：加藤 康夫 (ykato@homeserver.ddo.jp)

・カンパ先

口座名義：加藤 康夫

支店：オペラ支店

支店番号：205

口座番号：3618220

・バージョンと更新履歴

バージョン	日付	更新内容
1.0.0	2008/ 8/	試作（IMAP 対応）
1.1.0	2008/ 8/	定周期起動を共通ユーティリティに変更
1.2.0	2008/ 9/ 8	初期リリース（IMAP / POP3 に対応）
1.3.0	2008/ 9/17	「転送メール設定」画面を追加
1.4.1	2008/ 9/18	「メール転送設定」画面を追加